



広報紙53号 2024年7月1日
「TAMA市民塾」発行
〒183-0056 府中市寿町1-5-1
府中駅北第2庁舎6階
多摩交流センター内
TEL/FAX 042-335-0111

生涯学習に関するアンケート調査の結果について

TAMA市民塾・塾長 宮本 謙介

TAMA市民塾では今後の講座運営に資するため、2023年10月期講座および2023年8月・12月日曜講座の受講生を対象に「生涯学習に関するアンケート調査」を実施しました。回答頂いた塾生の皆さん、ご協力有り難うございました。皆さんのご協力により276名の方々から回答を得ることができました（当該期の受講者総数328人、回答率84.1%）。

以下、回答集計の一端をご紹介し、市民塾受講者の属性と生涯学習に対する意識動向を検討してみたいと思います。

I 性別

性別では女性167人(60.7%)、男性108人(39.3%)でした(無回答1人)。これを過去の受講者データと比較してみましょう。例えば2015年～2019年の5年間の男女比データでは、女性69%に対して男性31%でした。今回の調査でも女性優位の参加状況は変わりませんが、次に見る年齢構成で高齢者が益々増加傾向にあることを踏まえると、高齢男性の社会参加が徐々に進んでいるものとみられます。

II 年代別構成

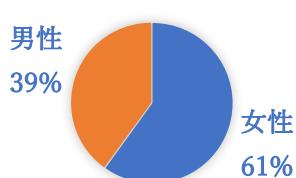
受講者の年齢別構成をまとめると以下のようになります。①40歳未満〇 ②40歳代6人(2.2%) ③50歳代28人(10.4%) ④60歳代72人(26.7%) ⑤70歳代127人(47.0%) ⑥80歳以上37人(13.7%)。前項と同様に2015年～2019年データ(60歳代46% 70歳代29% 50歳代14% 80歳代5%)と比較すると、今回は70歳代、80歳代の増加が顕著で、やはり受講生の高齢化は明瞭です。現行の講座は、平日の日中(午前・午後)に組んでいるものが多く高齢者には受講しやすい時間帯ですが、仕事を持つ若年・壮年層向けの夜間講座・土日講座の充実も今後の課題となります。

III 市民塾・受講歴

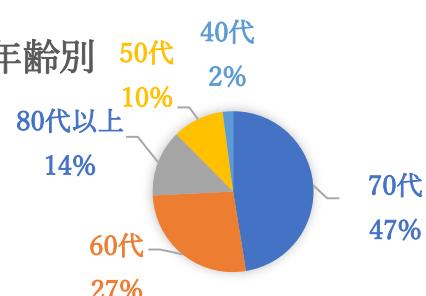
アンケート対象の方々の過去の受講歴の集計では、①初参加78人(31.3%) ②過去1回32人(12.9%) ③過去2回36人(14.5%) ④3回以上103人(41.4%)となりました。

繰り返し受講して頂いている方々の多さが特徴です。

男女別



年齢別



IV 質問項目別集計から見た特徴（次頁の集計資料参照、いずれの質問も複数回答可）

1 生涯学習の場所・形態

TAMA市民塾以外でも生涯学習に取り組んでいる方々の多くは、地域の公民館や学習センター、カルチャーセンター、通信教育などにも参加しておられます。受講料の高い大学・大学院の社会人コースなどへの入学は少数派のようです。

2 生涯学習への参加理由

生涯学習に取り組む理由としては、「人生を豊かにする」「教養を深める」「健康の維持・増進」などが多く、これらは市民塾をはじめとして生涯学習を担う団体の活動目的とも合致しています。脳トレ・筋トレによって健康寿命を延ばそうとする中・高年者の意識の高まりはつとに指摘されており、市民塾も微力ながらお役に立てるものと自負しています。

3 今後の学習分野

今後学習したい分野としては、「教養的なもの」「趣味的なもの」「社会問題」「健康・スポーツ」などが多数選択されています。こうした希望分野は、前項の生涯学習の参加理由とも符号するものであり、市民塾としても今後の講座編成の際に大いに参考にさせて頂きます。

4 生涯学習の情報収集

生涯学習に関する主な情報収集源は、やはり「公民館・図書館などのポスター・チラシ」ですが、意外と多いのがインターネットのホームページ閲覧です。受講者が高齢者中心ですので市民塾ホームページの閲覧はそれほど期待していませんでしたが、案に相違して高齢者のネット利用も増加しているようです。

V 「自由記入欄」のご意見

最後に「自由記入欄」のご意見について代表的なものを紹介します。

まず市民塾に好意的なご意見として、「いつも新たな発見がある」「自身の精神世界が広がる」「認知症予防になる」「生活の幅が広がる」「受講料が安く有り難い」「テーマが多彩」などがあります。いずれもボランティア精神による知縁コミュニティの生成を活動理念とする市民塾にとって大変有り難いご意見です。

一方、市民塾への不満・要望としては、「もっと講座数・定員を増やしてほしい」「落選が多い人を救済してほしい」などのご意見が多く寄せられました。市民塾として利用できる会場（教室）の数や広さ、利用頻度には制約があり、また外部の大人数を収容できる会場などを安定期に確保することは財政的にも難しいのが実状です。「（抽選ではなく）志望動機を記入した応募書類で選考してはどうか」などのご意見もありましたが、いつも数百名の応募者があり、定員を超える受講希望者の選抜では、選抜期間やスタッフ数の制約から現行の抽選が公平性を担保する現実的な方法となっています。これらのご意見に対しては、人気講座を繰り返し開講することや選抜のない単発の日曜講座（当日先着順）を充実させることなどで、ご期待に添えるよう今後も努力する所存です。（なお、多摩交流センターには、市民塾の講座終了後も「自主グループ」として活動を継続している人気講座が沢山有りますので、利用されることをお薦めします。）



アンケート集計 質問項目1～4

	質問内容	選択回答比率(%)
1	あなたは、TAMA市民塾以外で、これまでにどのような場所や形態で学習をしたことがありますか。	
	① 公民館や生涯学習センターなど公的な機関における講座や教室	79.7
	② カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育	46.7
	③ 学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の講座や教室	38.1
	④ 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	36.2
	⑤ テレビやラジオ	23.2
	⑥ その他（具体的に）	6.5
2	TAMA市民塾を含めて、学習した（している）理由は何ですか。	
	① 現在の、または当時の仕事において必要性を感じたため	4.7
	② 新しく就職したり、転職したりするために必要性を感じたため	0.7
	③ 家庭や日常生活に生かすため	28.6
	④ 健康の維持・増進のため	44.6
	⑤ 他の人の親睦を深めたり、友人を得たりするため	22.5
	⑥ 人生を豊かにするため	65.9
	⑦ 教養を深めるため	67.0
3	今後も学習するとすればどのようなことを学習したいですか。	
	① 職業上必要な知識・技能（仕事に関する知識の習得や資格の取得など）	5.4
	② インターネットに関する（プログラムの使い方、ホームページの作り方など）	18.4
	③ ボランティア活動のために必要な知識・技能	11.6
	④ 自然体験や生活体験などの体験活動	33.3
	⑤ 社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	46.4
	⑥ 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）	42.0
	⑦ 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	17.2
	⑧ 育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）	6.2
	⑨ 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）	51.4
	⑩ 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）	76.8
	⑪ 学習したいとは思わない	0.4
4	今後も学習するとすれば、どこから情報収集を行いますか。	
	① インターネットのウェブサイト（ホームページ）や講座情報の検索サイト	53.6
	② オープンキャンパスなど、大学などの教育機関が開催している説明会など	28.6
	③ 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ	50.7
	④ 公民館や図書館などのポスター、チラシ	75.4
	⑤ 友人・知人や過去の受講者の評判・口コミ	22.8
	⑥ その他（具体的に）	

- お知らせ -

TAMA市民塾講師決定【2025年4月から2年間（4期分）】

100名を超える多数の応募をいただき、TAMA市民塾において、提出された応募用紙をもとに一次審査書類選考と二次審査面談を実施し、4月末に44名の講師が決定しました。

今回決定した講師は、2025.4月開講・2025.10月開講・2026.4月開講・2026.10月開講のいずれかの時期に登壇していただきます。ユニークで楽しみな講座の開講をご期待ください。



講師面談の様子

日曜講座報告

① 宮本塾長連続講座 第4回（最終回）アジアの中の日本～岐路に立つ台湾～

2023年12月10日（日）14:00～16:00 32名の参加

第1回：2023.3「イスラーム世界とインドネシア」

第2回：2023.6「在外華人社会とシンガポール」

第3回：2023.8「格差社会とITのインド」

ご参加ありがとうございました



② 第123回 TAMA市民塾日曜講座 斎藤経生講師 日本絵画にみる『雨と美術』

2024年5月26日（日）14:00～16:00 14名参加

スライド映写等で多くの作品にふれ、楽しい講座となりました

ご参加ありがとうございました



①日曜講座の様子
(2023.12.10)

②日曜講座の様子
(2024.5.26)